



# きなぎっせ

九州中央病院広報誌「第79号」2018年10月

□地域医療支援病院 □臨床研修指定病院 □日本医療機能評価機構認定病院

〒815-8588 福岡市南区塩原三丁目23番1号 TEL 092-541-4936(代) FAX 092-541-4540



「スズメ」 撮影：検査技術科 角 龍太

**基本理念** 病んでいる人の人権を尊重し、健やかで心豊かな社会をつくるための医療を提供します。

**基本方針**

Progressiveness	常に向上心を持ち何事にも積極的に、前向きに対処する
Hospitality	医療される方々の立場に立った、満足の得られる医療を行う
Superiority	質の高い、高度な医療を目指す
Rationality	合理的で、無駄のない医療、および医療経営を行う

## 目次

Medical Information	2	病院統計指標（入院）	8
インフルエンザ・ノロウイルス対策	4	病院統計指標（救急・外来）	10
登録医紹介	6	南警察署からのお知らせ	11
連携病院紹介	7	外来診療担当医表・編集後記（九中フレンズ）	12

# Medical Information.



## 慢性硬膜下血腫 について

脳神経外科医長 井上琢哉

一般市中病院において脳神経外科の手術対象となる疾患のうちもっとも多いものが慢性硬膜下血腫です。今回はこのきなざっせ「第79号」に寄稿する機会をいただきましたので

1. 慢性硬膜下血腫とは？急性硬膜下血腫とはどう違うのか？

2. どのような治療を行うのか

3. 治療予後はどうなのか

の三つの点について記載させていただきます。

### 1. 慢性硬膜下血腫とは

(急性硬膜下血腫との違いを含めて)

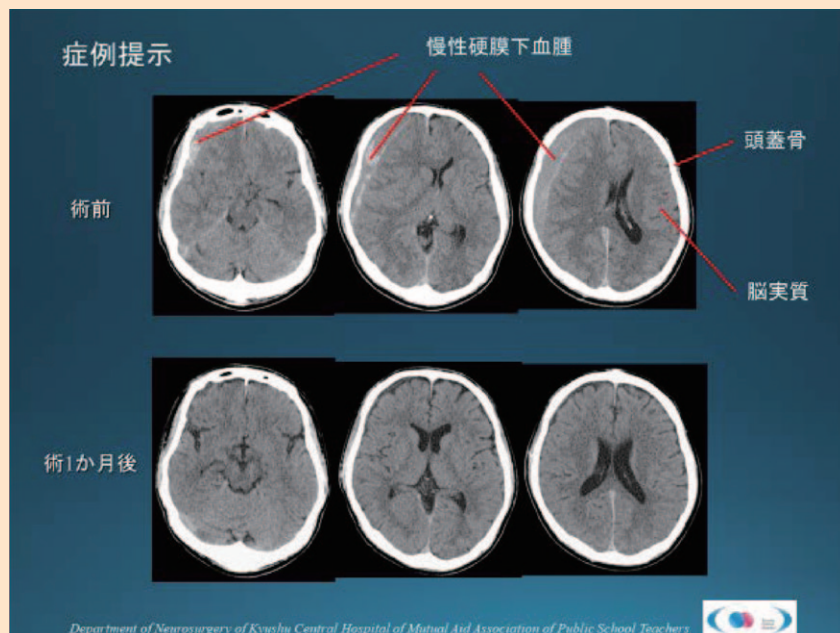
慢性硬膜下血腫といった言葉から分かるようにこの病気は慢性に（ゆっくりと時間をかけて）、硬膜下に（硬膜下といった場所を示しています。頭は皮膚があってその下に頭蓋骨がありますが脳は硬膜という硬い膜に覆われて頭が

い骨の中におさまっています。硬膜下とは硬膜と脳の間空間になります）、血腫（血液成分）が溜まっていく病気です。

硬膜下のスペースは高齢者ほど大きくなってくため高齢者に多く見られる病気で、多くは頭を強く打撲して数か月の経過で血腫が溜まり症状を出してきます。症状としては頭痛や麻痺症状で発症することが多く（右に溜まると左半身、左に溜まると右半身麻痺となります）、長く放置すると意識障害を起こしてきます。診断は現在CTなどの診断機器が発達しており血腫が脳を圧迫している画像所見から容易です（症例提示参照）。

さて、慢性と急性硬膜下血腫の違いですがこれにはその成り立ちから説明させていただきます。

慢性硬膜下血腫の成因についてはいまだはっきりしないところが多いのですが実は単純に血が溜まるのではなくて硬膜と脳の間袋ができてそのなかに血液成分が溜まっていくのです。袋といっても生体の膜からできていますので袋には血管が入り込んでいてここから血液のさらさらした成分がしみ出てゆっくり風船のように



膨らんでくると思ってください。従って慢性硬膜下血腫の血腫成分は液状です。一方、急性硬膜下血腫の場合は脳表面の血管が急に破れて出血するもので硬膜と脳の間には血液は溜まりますが袋はなく血腫は固まって硬くゼラチン状となります。これら血腫の性質の違いは慢性と急性硬膜下血腫の手術法の違いに反映されます。

## 2. どのような治療を行うのか

症状が無いかあっても軽度の場合はお薬（ケタス、五苓散など）の内服で血腫が自然吸収されるのを期待、それでも血腫が増える場合やもとより症状が強い場合は手術を行います。

慢性硬膜下血腫の場合は穿頭血腫除去術といって頭皮を5 cm程度切開、頭蓋骨にドリルで15mm程度の穴をあけ硬膜を切開、血腫の袋を破って液状の血腫を吸い出す手術を行います（手術の実際参照）。局所麻酔で可能な手術で手術時間は30分程度、手術室に入ってから出てくるまで1時間を少し越える程度の手術となります。血腫の袋の中には一日、チューブを入れておき血腫成分が自然に排液されるに任せます。翌日にはチューブは抜去、麻痺などがあ

ればリハビリを開始する事になります。

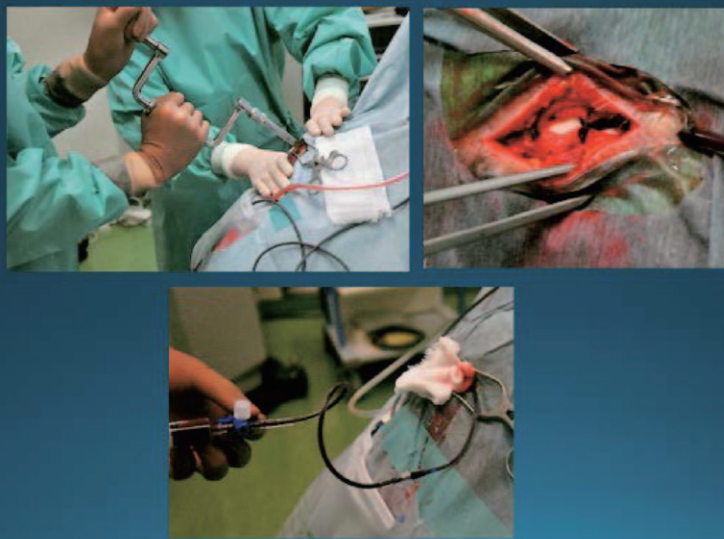
一方、急性硬膜下血腫の場合は血腫が硬いため穴から血腫を吸い出すことはできません。全身麻酔で皮膚を切開、骨を大きく切って外して血腫を除去する必要があります。

## 3. 治療予後

一般に慢性硬膜下血腫は予後良好な疾患です。多くの場合は術後、一週間程度で抜糸を行い自宅退院になる方がほとんどです。ただし、再発が一割程度に見られ再手術を要する場合があります。稀ですが再発を繰り返して治らない場合は全身麻酔下で大きく骨を外し血腫が溜まる袋そのものを切除する事もあります。

以上、簡単ですが脳神経外科疾患のなかで頻繁に見られる慢性硬膜下血腫に関して説明させていただきました。高齢化社会が進んでいる昨今、本疾患も増えているようでありご理解の一助となれば幸いです。

### 手術の実際



脳神経外科速報25巻1号 慢性硬膜下血腫の手術より転載

# インフルエンザ・ノロウイルスの感染対策

かからないように、拡げないように **咳エチケット**・**手洗い** を徹底しましょう!!

医療安全管理室 感染制御担当 副室長 古賀恒久(総合内科医長)

## インフルエンザ

### インフルエンザウイルスの種類

季節性インフルエンザのウイルスには、A(H1N1)(平成21年に流行した新型インフルエンザと同じ亜型)、A(H3N2)(香港型)、2系統のB型の4つの種類があり、いずれも流行の可能性があります。

毎年世界中で流行を繰り返していますが、流行するウイルス型や亜型の割合は、国や地域で、また、その年ごとにも異なっています。

### インフルエンザはどうやってうつるの? (図1)

**飛沫感染**：咳やくしゃみによって飛び散った小粒子(飛沫)を吸うことで感染します。

**接触感染**：飛沫に汚染された環境表面(ドアノブやスイッチなど)に触れることによってウイルスが付着した手を介する感染です。手についたウイルスを目や鼻、口などに無意識にもっていくことにより、粘膜からウイルスが侵入します。



図1. インフルエンザの感染経路

**潜伏期間(感染から発症までの時間) → 1～2日間**

### 治療

インフルエンザに対する治療薬としては、タミフル(内服)、イナビル(吸入)などの抗インフルエンザウイルス薬があります。これらを適切な時期(発症から48時間以内)に開始すると、発熱期間は通常1～2日間短縮され、鼻やのどからのウイルス排出量も減少します。なお、症状が出てから2日(48時間)以降に服用を開始した場合、十分な効果は期待できません。

インフルエンザにかかった時には、「他の人にうつさない」ことが大事です。同居する他の家族、特に重症になりやすいお年寄りなどにはなるべく接触しないよう心がけ、患者さんはできるだけ他の家族と離れて静養しましょう。

### 予防対策

飛沫感染、接触感染といった感染経路を断つことが大事です。

#### 1 流行前のワクチン接種

- ・ 予防接種は感染後に発症する可能性を減らし、もし発症しても重い症状になるのを防ぐのに有効といわれています。
- ・ 流行するウイルスの型も変わるので、毎年、定期的に接種することが望まれます。

#### 2 飛沫感染対策としての咳エチケット (図2)

飛沫が飛ばないようにすれば、感染する機会は大きく減少します。

#### 3 外出後の手洗い等

- ・ 人が多く集まる場所から帰ってきたときには手洗いを心がけましょう。
- ・ アルコールを含んだ消毒液で手を消毒するのも効果的です。

#### 4 適度な湿度の保持

空気が乾燥すると、気道粘膜の防御機能が低下します。室内は加湿器などを使って湿度50～60%に保つことも効果的です。

#### 5 十分な休養とバランスのとれた栄養摂取

体の抵抗力を高めるために日頃から心がけましょう。

#### 6 人混みや繁華街への外出を控える

やむを得ず人混みに入る可能性がある場合には、ある程度の飛沫等を防ぐことができるマスクを着用することは一つの有効な防御策と考えられます。



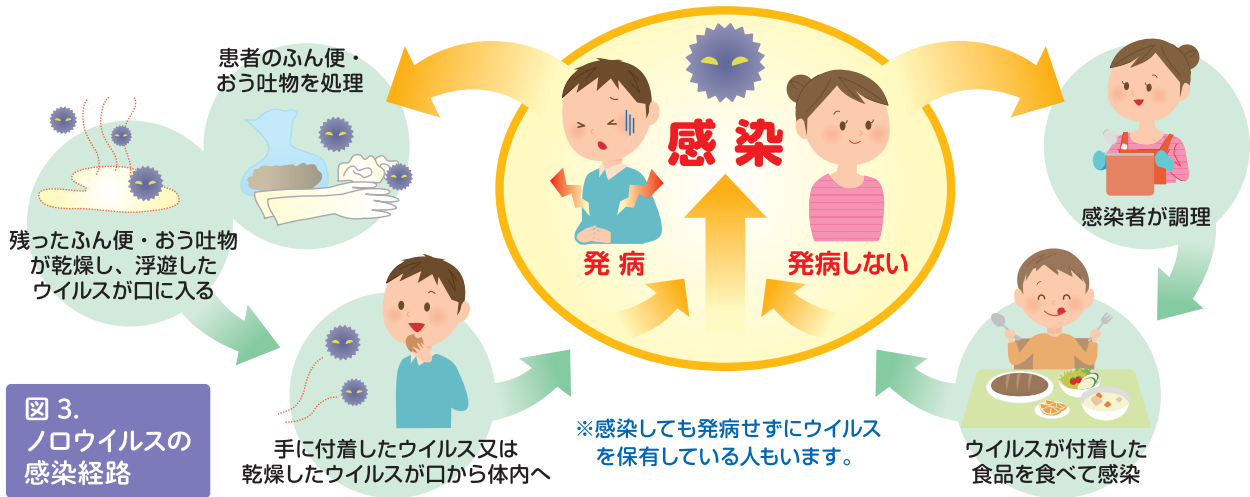
図2. 咳エチケットを徹底しましょう

## 感染性胃腸炎（ノロウイルス）

ノロウイルスによる感染性胃腸炎や食中毒は、一年を通して発生していますが、特に冬季に流行します。おう吐、下痢、腹痛などを起こしますが、発熱は軽度です。健康な方は軽症で1～2日程で回復しますが、子どもやお年寄りなどでは重症化したり、吐物を誤って気道に詰まらせて死亡したりすることがあります。

### ノロウイルスはどうやってうつるの？（感染経路）（図3）経口感染がほとんど

- 1 汚染されていた二枚貝を、生あるいは十分に加熱調理しないで食べた場合
- 2 患者のノロウイルスが含まれる便や嘔吐物から人の手などを介して感染（二次感染）



### 潜伏期間（感染から発症までの時間）

→ 24～48時間

#### 治療

現在このウイルスに対する効果のある抗ウイルス薬はありません。このため対症療法が行われます。特に体力の弱い乳幼児や高齢者は脱水症状を起こしたり体力を消耗したりしないように水分と栄養の補給を十分に行いましょう。

#### 予防対策

食品中のウイルスの活性を失わせるには、加熱処理が有効です。ノロウイルスの汚染のおそれのある二枚貝などの食品の場合は、中心部が85℃～90℃で90秒以上の加熱が望まれます。

手洗いは、手指に付着しているノロウイルスを減らす最も有効な方法です。（図4）

便、嘔吐物の処理には十分注意する必要があります。嘔吐物1g中には2000万個、便1g中には20億個のノロウイルスが含まれています。ノロウイルスは感染力が強く、環境（ドアノブ、カーテン、リネン類、日用品など）からもウイルスが検出されます。消毒が必要な場合次亜塩素酸ナトリウムを使用してください。

ノロウイルスにはアルコール消毒液は効果が不十分なため、流水とせっけんでの手洗いが重要です。せっけんで10秒もみ洗い、15秒すすぎを2回繰り返す手洗いがウイルスを除去するのに効果的です。

#### 正しい手の洗い方



石けんで洗い終わったら、十分に水で流し、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。

15秒すすいだ後

①～⑥を2回繰り返す

図4. 手洗いは感染予防の基本

# 登録医の先生ご紹介



## ホワイト花満クリニック

登録医名	末満 隆一 先生
住 所	〒814-0121 福岡市城南区神松寺二丁目10-3-1F
電話番号	TEL 092-801-8739 FAX 092-801-8740
H P	<a href="http://www.shirohana8739.com">http://www.shirohana8739.com</a>
診療科	一般内科・一般外科・緩和ケア
診療日	月～金 9:00～17:00 (土・日・祝日は臨時往診対応)

平成28年3月15日に開院しました在宅専門のクリニックです。城南区の神松寺に位置しており、そこを中心に法定の半径16km圏内で訪問診療を行い、診療範囲はほぼ福岡市を網羅しています。スタッフは看護師2名、事務員3名の体制で24時間365日動き回っています。フットワークが非常に軽いクリニックですので、まずはお相談ください。



## 医療法人 楽歯会 しらしげ歯科医院

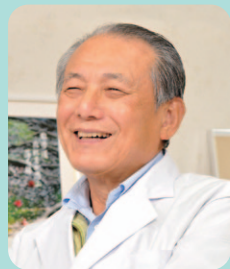
登録医名	白重 豊英 先生
住 所	〒811-2202 粕屋郡志免町志免三丁目1-8
電話番号	TEL 092-936-0068 FAX 092-692-6479
H P	<a href="http://shirashige.com">http://shirashige.com</a>
診療科	歯科・小児歯科・矯正歯科・審美・インプラント・訪問診療
診療日	月～土 9:30～19:00 (日、祝日休診) 土曜日は18:00まで

「親切・丁寧・真摯をモットーに、最良の治療及び最良の健康管理を実践し、地域の方々の健康の維持・増進に務め、地域になくてはならない歯科医院であり続ける」の診療理念を掲げ100年続く歯科医院を目指しています。よろしくお願いたします。

## 先生方へ 地域医療連携室からのお知らせ

- 診療情報提供書の冊子がなくなりましたら、お気軽にご連絡下さい。  
地域医療連携室から必要冊子を郵送させていただきます。  
(当院の診療情報提供書でなくとも、先生方の使いやすい書式でももちろん結構です。)
- 平日のCT・MRI 検査枠を拡大しました。  
CT (単純撮影のみ) 最終撮影時間 17:30  
MRI (単純撮影のみ) 最終撮影時間 17:40  
お仕事帰りの方などにもご好評いただいております。是非、ご活用下さい。

# 連携病院のご紹介



## 医療法人 正明会 諸岡整形外科病院・クリニック

**登録医名** 諸岡 正明 先生

**住 所** 福岡県筑紫郡那珂川町片縄三丁目 101 番地  
(平成 30 年 10 月 1 日から筑紫郡那珂川町は、那珂川市になります)

**電話番号** TEL 092-952-8888 FAX 092-952-8889

医療法人 正明会 諸岡整形外科病院・クリニック 理事長 諸岡 正明 先生

昭和 48 年 2 月、初代の整形外科部長として九州中央病院に赴任しました。

当時の病院はまだ古い建物で、外来は 1 階の玄関の並びで外科外来と繋がっていました。

病院の北側は福岡農業高校で、病院から西鉄の高宮・大橋間の線路までの間には、正面北側に第一高校、薬科大学があるだけで田園ばかりで、西鉄電車が走るのを病院から見る事ができました。病院前の道路は大橋駅までで筑紫丘高校（現在の九大大橋キャンパス）に直進できませんでした。

九州中央病院には 5 年間、昭和 53 年 8 月までお世話になり、当時入院中の患者さんの勧めで、昭和 53 年 9 月に那珂川町の地で整形外科医院を始めました。

当時は人口 2 万と少しの小さな田舎町で田園ばかりの場所でしたが、現在は人口 5 万人を超えて、今年 10 月からは那珂川市になります。

最初は 19 床の医院からスタートしましたが、現在すぐ横に 60 床の病院を併設する整形外科の専門病院を開設しています。私が専門としている脊椎、九州中央病院で副院長を務めていた増田祥男医師（現在当院病院長）が専門の軟部骨腫瘍、そして同じく九州中央病院でお世話になりました副理事長の諸岡孝明医師が膝専門など、整形外科総ての領域での診療にあたっております。

九州大学病院、福岡大学病院からの応援も得て 9 名の医師とともに、年間 800 例以上の手術も行っております。

患者さん一人一人へ向き合い、より良い適切な診療、医療アドバイスを提供し、整形外科疾患の治療に専心しているところです。



病院外観



待合室

**診療科** 整形外科・リハビリテーション科・リウマチ科・麻酔科

**診療日** 月曜日～土曜日（土曜は午前のみ） **診療時間**（午前）9:00～13:00（午後）14:00～17:30

**ホームページ** : <http://www.morookahp.com>

# 病院統計指標(入院)

九州中央病院では病院の役割や現状を、地域医療を担う地域医療機関の先生方および市民の皆様への広報を意識した病院指標データを公開しています。

今回は各科にどのような疾患の入院患者さんが多いかがわかる資料です。

期間：平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月

対象：退院患者

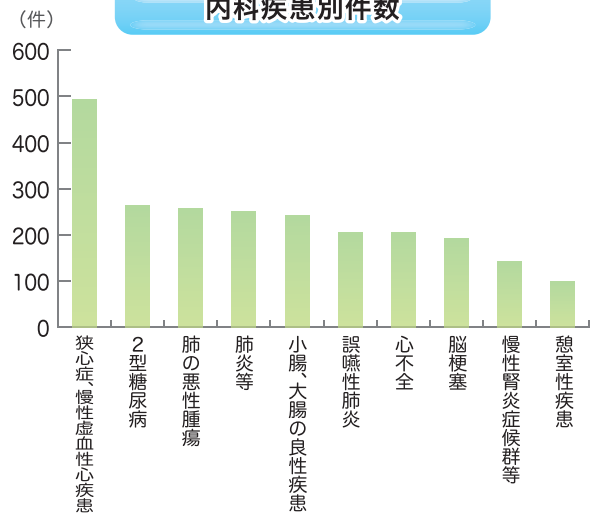
- 各診療科の疾患別件数
- 全診療科の疾患別件数

各診療科の患者数の多い疾患と全診療科でみた患者数の多い疾患は次のとおりです。

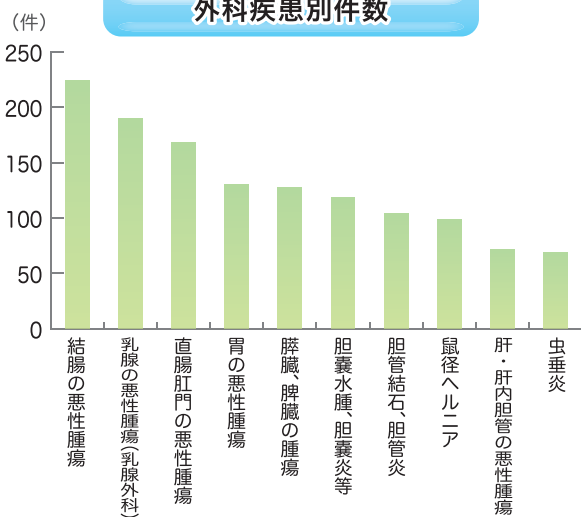
疾患名=DPC(診断群分類)による疾患コード(DPC分類6桁)名で表示しています。

※DPCデータで作成しているため、歯科口腔外科の統計は含まない。

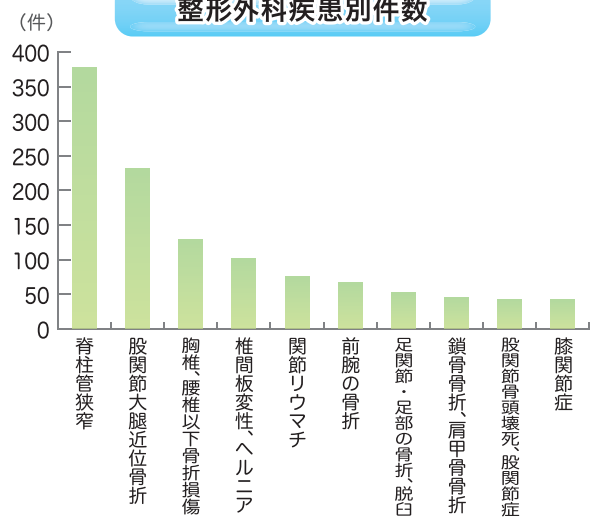
### 内科疾患別件数



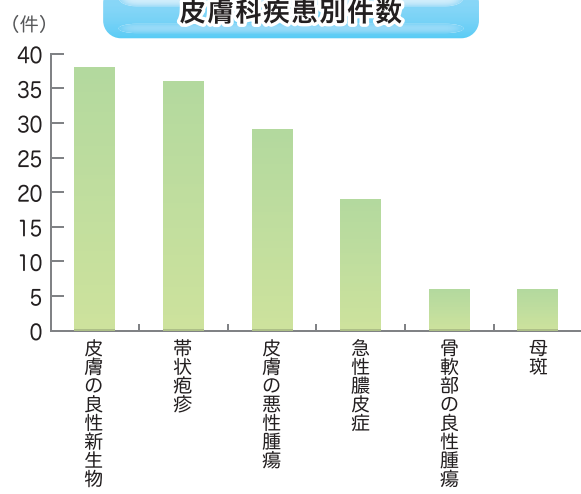
### 外科疾患別件数



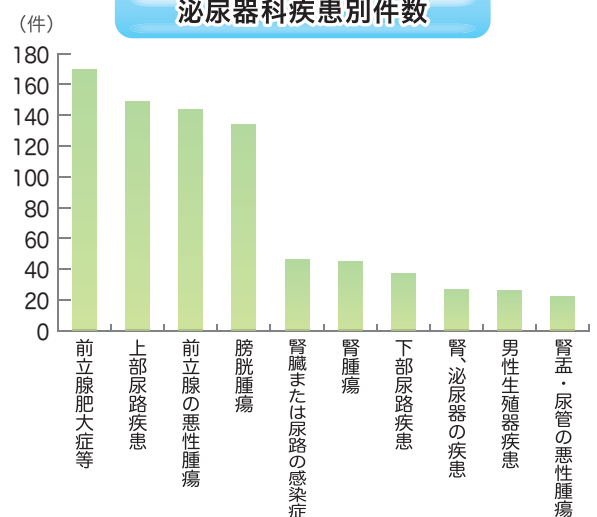
### 整形外科疾患別件数



### 皮膚科疾患別件数

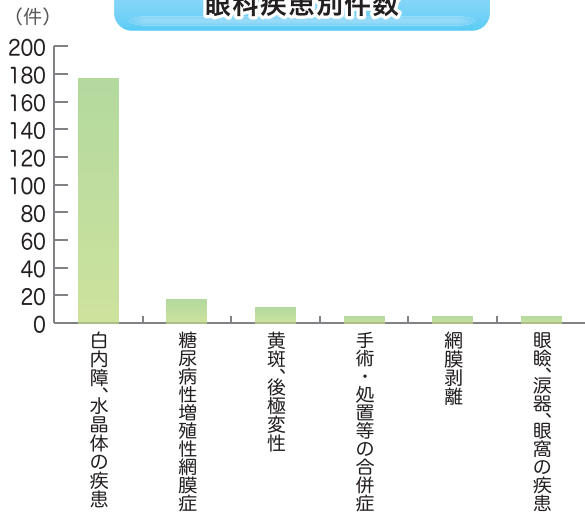


### 泌尿器科疾患別件数

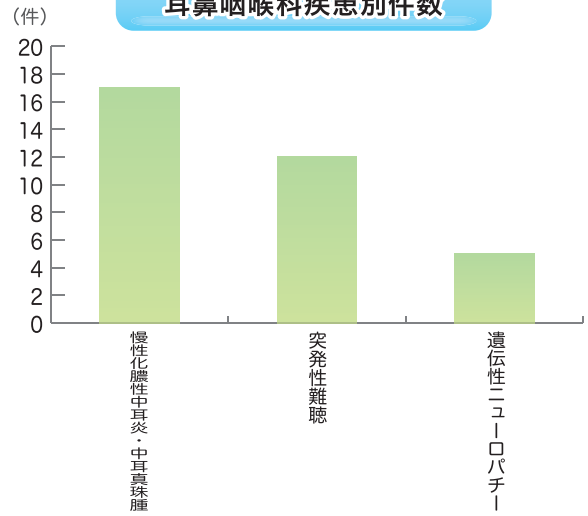




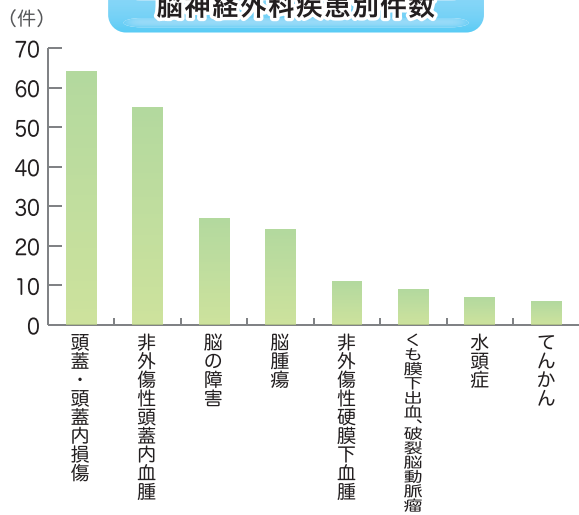
眼科疾患別件数



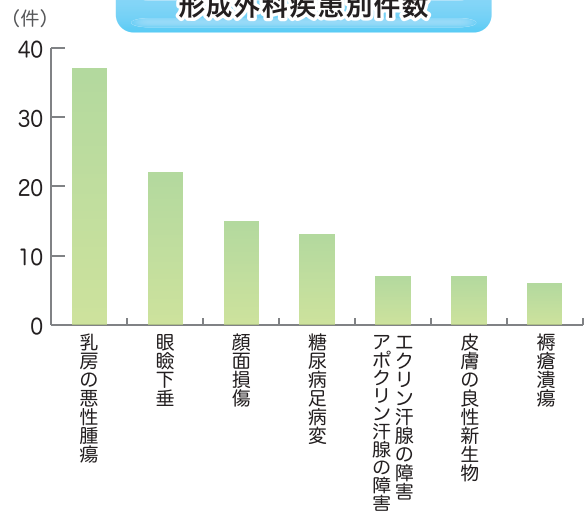
耳鼻咽喉科疾患別件数



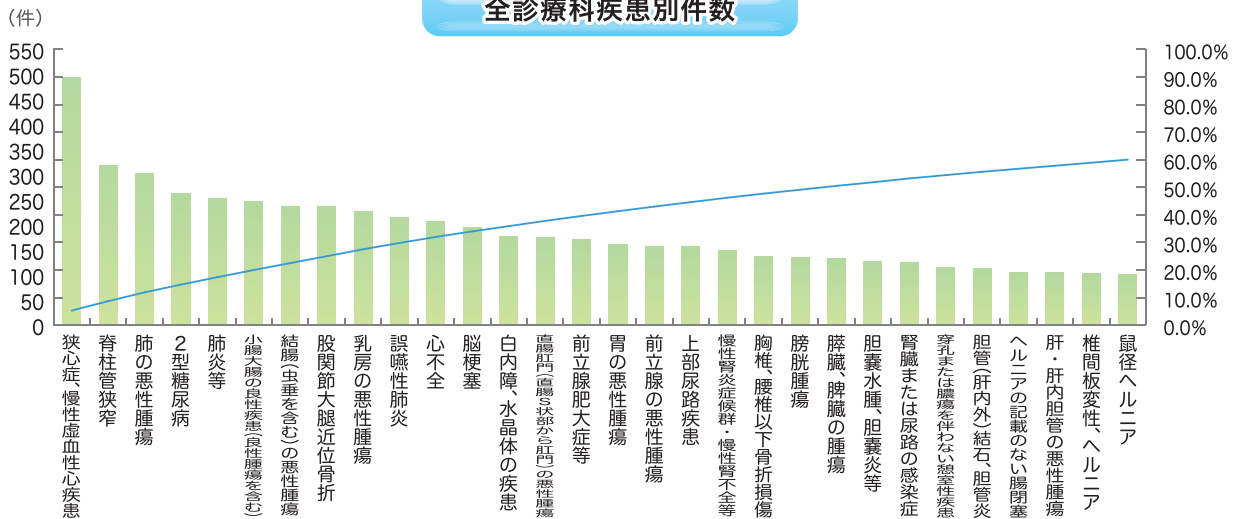
脳神経外科疾患別件数



形成外科疾患別件数



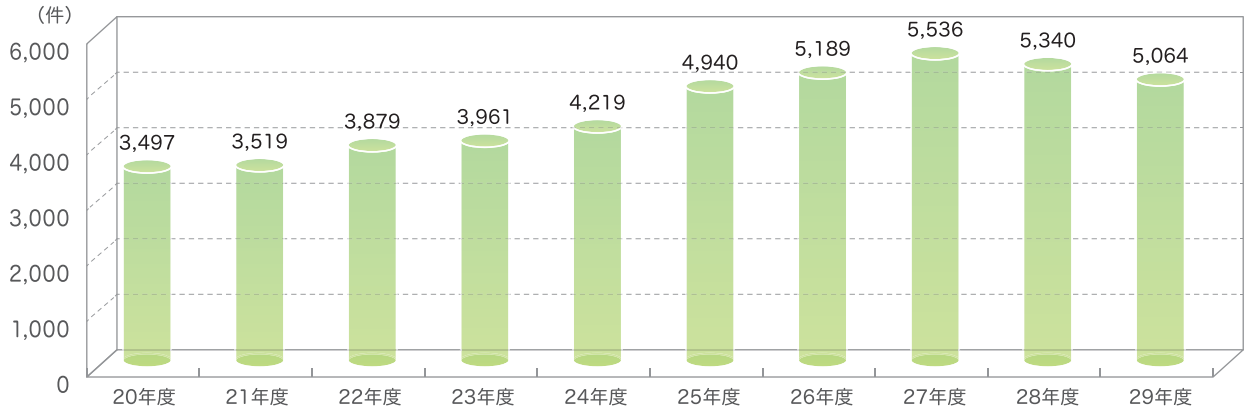
全診療科疾患別件数



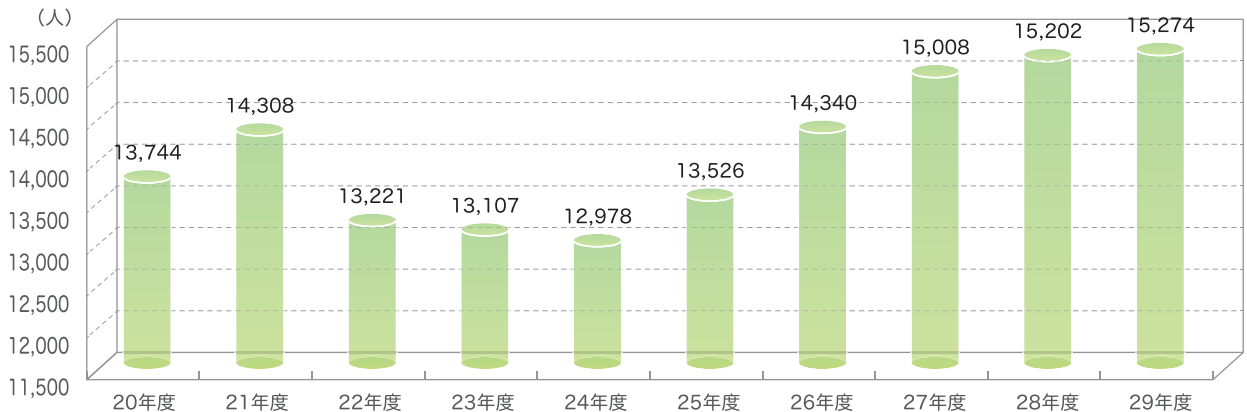
# 病院統計指標（救急・外来）

公立学校共済組合九州中央病院は、地域医療支援病院として、地域医療の中核病院としての役割を担っております。公立学校共済組合九州中央病院の役割や現状を、地域医療連携を担う地域医療機関の先生方および市民の皆さまへの広報を意識したいろいろな病院指標のデータを公開してまいります。

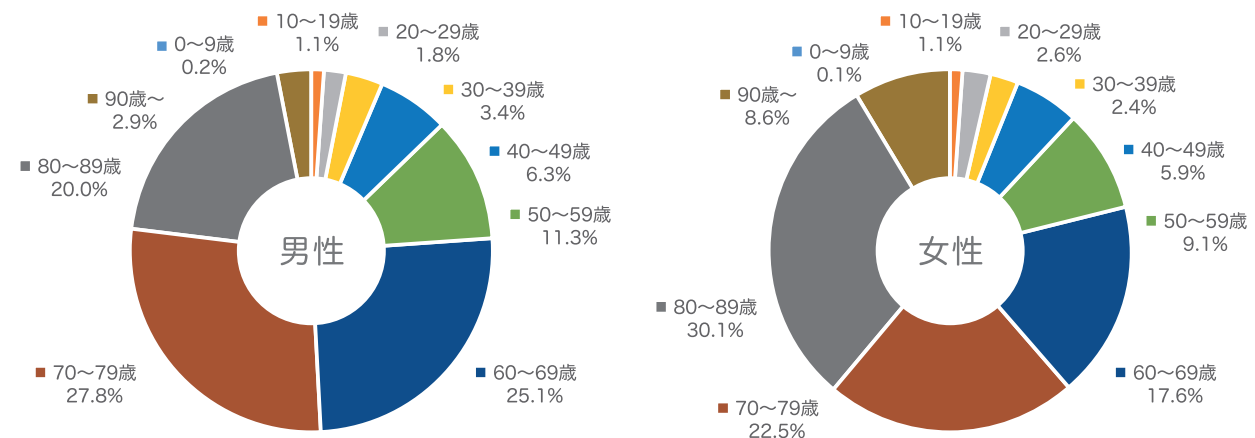
### 救急車搬入台数の年次推移



### 紹介患者総数の年次推移



### 平成 29 年度 年齢別入院患者割合



# 南警察署からのお知らせ

福岡県南警察署 092-542-0110



百貨店や警察を名乗る

## カード・通帳受取型詐欺に注意!



### だましの手口

- 1 自宅に、百貨店の社員等を名乗る者から  
「あなたのカードで買い物されている。」  
「後で警察から電話がある。」  
等の電話がある。
- 2 中央警察署や博多警察署の警察官を名乗る者から  
「カードが不正利用されている。カード・通帳を預かりに行く。」  
「捜査のために暗証番号を教えて。」  
等の電話がある。
- 3 電話中に警察官と名乗る別の者が自宅に来て、キャッシュカードや通帳をだまし取られる。



### 防犯ポイント

- 警察官が、電話で暗証番号等を聞くことはありません。
- 少しでもお金の話が出たら、一度電話を切り、周囲に相談をしましょう。
- 他人にキャッシュカードや通帳を渡してはいけません。

**「電話でお金はすべて詐欺! すぐに相談・110番!」**

## 平成30年全国地域安全運動

全国地域安全運動は、防犯協会などの地域安全に関する機関・団体と警察が、連携を一層緊密にし、地域安全活動の浸透と定着を図るものです。

- 運動の期間：10月11日(木)から10月20日(土)までの10日間
- 運動の重点：子供と女性の犯罪被害防止  
ニセ電話詐欺の被害防止



犯罪のない安全で安心して暮らせる地域社会を目指して、  
地域で防犯活動に取り組みましょう。

# 九州中央病院専門外来診療担当医表

平成30年10月1日現在  
 ◎新患もしくは再来 ○再来

科	専門分野	氏名	月	火	水	木	金	科責任者
内科	総合内科	古賀恒久		◎	○			●
		浦 和也				◎		
	糖尿病内科	五島大祐	○			◎	○	●
		泊 秀史		○	◎		○	
		坂本典彦	◎			○		
	消化器内科	檜沢一興	◎	○				●
		藤田恒平		◎		○		
		飯田真大			○		◎	
		坂本 圭	○			◎		
		池田祥記			◎		○	
	循環器内科	吉村悠花		○				
		鍵山俊太郎		◎	◎		○	●
		河野 修				◎		
		関 拓紀	○					
	脳血管内科	九州大学医師	◎				◎	
		大森 将	○(午後)		○(午後)			
		竹迫仁則		○			◎	●
		牧原典子	○		◎			
		金澤有華	◎			○		
		伊辻花佳					◎	
肝臓内科		東 晃一		◎		○	●	
呼吸器内科		古藤 洋	○	○		◎		●
		中島信隆			○		◎	
		中富啓太	◎				○	
	長谷川真紀			◎				
	水崎 俊		◎					
腎臓内科	中村 聡				○			
	水政 透		◎				●	
	牧 建次			◎				
三品仁美					◎			
PD 外来	水政 透			完全予約	完全予約			
心療内科	河田 浩	完全予約	完全予約	完全予約	完全予約	完全予約	●	
	早木千絵	完全予約	完全予約	完全予約	完全予約	完全予約		
外科	消化器外科	禁煙外来	五島大祐				完全予約	●
		池田陽一	◎			○		●
		鴻江俊治			○			●
		足立英輔		◎			○	●
		中村俊彦	○		11時まで			
		金城 直			○		◎	
		大垣吉平	○		◎			
		信藤由成	○			◎		
	東 貴寛					○		
	呼吸器外科	齊藤元吉		◎			◎	●
血管外科	九州大学医師				◎11時まで			
乳腺外科	乳腺外科	寺本成一	◎	◎	手術日	11時まで	◎	●
婦人科	婦人科	有働俊啓	◎	◎	◎	◎	◎	●
	脊椎・一般	有菌 剛	◎	◎	◎	◎	◎	●
整形外科	脊髄・一般	井口明彦			○	◎	◎	●
		膝・外傷・一般	濱田貴広	◎	◎		○	
	リウマチ・関節外科・外傷・一般	西田颯二郎	◎	○(午後)		◎		
	脊髄・関節外科・外傷・一般	今村隆太			◎		◎	
	関節外科・外傷・一般	馬渡大介		◎			◎	
		岩田真一郎	◎	◎				
		鶴居亮輔	◎	◎				
		柿添 隼			◎	◎		
	リウマチ・一般	時任 毅			○(午後)		○(午後)	
	形成外科	形成外科一般	井上真衣	◎	◎	10時まで	◎	手術日
吉村 希			予約	予約	予約	予約	手術日	
皮膚科	皮膚科一般	菊池智子	◎	11時まで	◎	手術日	◎	●
		原口祐子	◎	11時まで	◎	手術日	◎	
		佐藤友紀	◎	11時まで	◎	手術日	◎	

※精神科の外来は行っていません。尚、入院中の患者さんには、精神科医師（非常勤）による併診を行う場合があります。

科	専門分野	氏名	月	火	水	木	金	科責任者
泌尿器科	泌尿器科一般	関 成人		◎	○	◎	◎	●
		宋 裕賢			◎	○	手術日	○
		出嶋 卓	○		○	手術日	◎	
		平井良樹		○		○		
		岡部彩美	○			手術日	○	
眼科	眼科一般	長谷川裕平	手術日	◎	◎	11時まで	◎	●
		立花 崇	手術日	◎	◎	11時まで	◎	
耳鼻咽喉科	耳鼻咽喉科一般	君付 隆	完全予約	完全予約	手術日	完全予約	完全予約	●
脳神経外科	脳神経外科一般	井上琢哉		◎	◎	◎	手術日	●
		外間政朗	◎	◎	◎		手術日	PM 九大
放射線科	放射線診断一般	花田清彦	予約	予約	予約	予約	予約	●
放射線科	放射線治療一般	花田清彦 / 九大	予約	予約	予約	予約	予約	●
麻酔科	ペインクリニック	本山嘉正	◎	予約			◎	
緩和ケア外来	緩和ケア全般	鴻江俊治		予約(午前)	予約(午前)			●
		中村俊彦	予約(午後)				予約	●
摂食嚥下・NST 外来	摂食嚥下機能・栄養管理	金城亜紀 / 竹迫仁則			予約	予約		
歯科 口腔外科	歯科口腔外科一般	堀之内康文	予約	予約	手術日	予約	予約	●
		佐々木匡理	予約	予約		予約	予約	
		碓 竜也	予約	予約		予約	予約	
		平山真敏	予約	予約		予約	予約	

	月	火	水	木	金
胃透視	藤田 吉村	飯田 吉村	坂本 吉村	池田 吉村	檜沢 吉村
内視鏡	①	飯田 吉村	池田 吉村	藤田 吉村	池田 吉村
	②	池田 坂本	檜沢 飯田	藤田	

一般患者さんの受付時間（新患・再来） 8:30～11:00  
 紹介患者さんの受付時間（新患・再来） 8:30～12:00  
 歯科口腔外科 8:30～11:00  
 ※受付時間外の救急患者さんについては、お問い合わせをお願いします。

**医療機関からのお問い合わせ先は、下記の通りです**

平日（8:30～17:00） 【地域医療連携室】 TEL: 0120-541-995(直通) FAX: 0120-541-990(直通)	時間外（左記以外） 【救急外来】 TEL: 092-541-4936 FAX: 092-541-4540
---	---

**\* 時間外の受付（救急の患者さんに限る）**  
 時間外・夜間・土曜・日曜・祝祭日ならびに年末年始(12/29-1/3)は、救急外来で対応いたします。

**\* 予約受付時間**  
 【検査のみ】(CT・MRI・骨シンチ・胃カメラ・骨密度)  
 平日（8:30～17:00）  
 土曜日（9:00～14:00）

【歯科口腔外科】  
 平日（8:30～13:00）(14:00～17:00)  
 予約専用ダイヤル：0120-541-998

【心療内科】(要予約)  
 TEL: 092-541-4936 ※新患：月・水・金（午前中）

**会員制サービス「九中フレンズ」について**

当院の情報誌や各イベントの開催、健康講座の資料掲載の閲覧や外来予約日メールが携帯に届きます。  
 入会金や年会費は無料です。  
 健康や医療に関心がある方は、ぜひ気軽にお申込み下さい。

 Kyushu Central Hospital

九州中央病院広報誌「きなざっせ」第79号  
 編集：広報委員会 発行：九州中央病院  
 URL: <http://kyushu-ctr-hsp.com>